

在宅医療の推進にかかる主要施策及び医療機能別の主な事業

		在宅医療の医療機能			
		【退院支援】	【日常の療養支援】	【急変時の対応】	【看取り】
		円滑な在宅療養移行に向けての退院支援が可能な体制	日常の療養支援が可能な体制	急変時の対応が可能な体制	患者が望む場所での看取りが可能な体制
富山県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画（介護との連携による在宅医療等の推進）	1 在宅医療の推進と普及啓発	○あんしん在宅医療・訪問看護推進会議 (H20～) 在宅医療基盤整備に係るサービス確保方策に関する検討 (H20.5設置)			
		○地域包括ケアシステム推進会議の開催 (H26～)			
		○地域包括ケアシステム普及啓発の促進 (H27～) 地域包括ケア活動実践団体の募集・登録 など			
		○在宅医療・本人の意思決定支援事業 (R2～) 郡市医師会の医療圏単位でのACP等に関する普及啓発等の取組みを支援			
	2 在宅医療提供体制の整備	○富山県在宅医療支援センター運営事業 (H27～) 在宅医療に取り組む医師の確保・育成、普及啓発等			
		○在宅医療推進加速化事業 (H29～R元年) 郡市医師会の在宅医療推進の取組みを支援			
		○富山県訪問看護総合支援センター運営事業 R4～ (H22～の訪問看護支援事業等の機能を拡充) ①訪問看護支援強化事業：訪問看護相談窓口の設置、訪問看護の普及・啓発（相談会等）、小児医療対応力向上技術研修等の研修、訪問看護運営支援アドバイザー派遣 ②訪問看護師人材確保事業 ③訪問看護災害時等支援体制推進事業			
		○訪問看護ステーションサポート事業 (R元年～) ①訪問看護師育成に関する相談対応 ②個別指導・訪問、研修の実施 ③圏域内の訪問看護ステーションの情報交換 等			
		○訪問看護ステーション業務改善推進事業 (H28～) I C T活用による訪問看護師の業務負担軽減			
		○訪問看護職員の確保・定着のための働き方改革推進事業 (H28～) 訪問看護師のトライアル雇用			
3 在宅医療・介護連携の推進	○訪問看護・医療機関相互研修事業 (H29～) 病院看護師が訪問看護ステーションへ出向など、訪問看護師が病院で研修				
	○福祉施設等歯科保健医療推進事業 (H26～) (健康課) 福祉施設等入所者に対する歯科保健医療に係るスクリーニング及びサービスの提供など				
	○地域リハビリテーション支援体制整備事業 (H13～) (健康課・高齢福祉課) 県及び6箇所の広域支援センター、10箇所の地域包括ケアサポートセンター (H30～) の運営市町村の地域ケア個別介護等へのリハビリ職等医療専門職の派遣				
	○リハビリ専門職資質向上事業 (H26～) 階層別研修を実施し、在宅リハビリの体制整備を支援				
	○在宅医療推進訪問薬局支援事業 (H27～) (くすり政策課) 薬剤師・薬局と多職種及び医療機関等関係機関との連携強化、薬局間連携の推進				
	○医療系ショートステイ病床確保 (H22～) 介護家族の急病など緊急時に在宅療養者を受け入れるショートステイ専用病床を確保				
○在宅重症難病患者一時入院事業 (H22～) (健康課) 介護家族のレスパイトのため、在宅重症患者の一時入院可能な病床の確保					
○医療・介護連携促進基盤整備事業 (H25～) 在宅療養患者のバイタル情報や介護情報、画像などをタブレット端末等を活用して情報管理等を行う医師会への支援					
○在宅医療・介護連携推進支援事業 (厚生センター事業 H27～) 関係者研修会支援、事例検討会や地域関係者との連絡会の開催、退院調整ルールの策定					

※所管課名のない事業は、高齢福祉課所管事業

令和4年度 在宅医療及び訪問看護の推進に向けた取組みについて

介護との連携による在宅医療等の推進

1 在宅医療の推進と普及啓発

(1) 富山県あんしん在宅医療・訪問看護推進会議の開催（高齢福祉課）

在宅医療の一層の推進と充実を図るため、在宅医療・訪問看護の推進方策を検討する有識者等による会議を開催。

- ・開催日 令和5年1月26日（木）

(2) 地域包括ケアシステム推進会議の開催（高齢福祉課）

医療、介護、介護予防、生活支援、住まいに関わる関係者が協働・連携して、富山県の地域性に即した効率的かつ効果的な地域包括ケアシステムの構築に向けた取組みを推進することを目的に開催。

- ・開催日 令和4年10月4日（火）



(3) 地域包括ケア活動実践顕彰（高齢福祉課）

高齢者の日常生活を支援するボランティア団体や、社会貢献活動の一環として高齢者支援を行う事業者など、地域包括ケアに関する活動を積極的に実践する団体や事業者を顕彰し、地域包括ケアシステムの構築に資する。

〈推薦の区分〉

地域社会において、生活支援、介護予防、医療・介護連携、その他のいづれかの分野で積極的かつ他の模範となる取組みを行っている団体や事業者

■医療・介護連携分野での顕彰団体

- H27年度 新川地域在宅医療療養連携協議会（黒部市）
- H28年度 在宅医療いみずネットワーク（射水市）
- H29年度 かたかご会（高岡市）
- H30年度 たてやまつるぎ在宅ネットワーク（中新川郡）
- R元年度 氷見在宅医療連携会（氷見市）
- R2年度 メディカルケアネット蜷気楼（魚津市）
- R4年度 滑川在宅医療推進協議会（滑川市）



(4) とやま医療情報ガイド（医務課）

機関所在場所や日時、診療科目などの項目でニーズに合った医療機関を検索できるサイトを運営。令和6年度に予定されている全国統一システム化に対応するため、データ移行テストなどの準備を実施。

(5) 急変時の対応に関する普及啓発

○救急受診ハンドブックを活用した普及啓発（医務課）

休日夜間急患センターの情報や、心筋梗塞や脳卒中が疑われる症状、救急車の呼び方など、適切な医療機関へのかかり方などに関する情報をまとめたハンドブックを県ホームページに掲載。

2 質の高い在宅医療提供体制の整備

(1) 24時間365日対応可能な在宅医療及び訪問看護等の確保・推進（高齢福祉課）

① 訪問看護ステーション設備整備補助

訪問看護ステーションの設置を促進するため、新規開設及びサテライト型の開設、大規模化等を行う事業所の設備整備に必要な経費を支援。

■実績等

- R2年度 新規開設 2箇所
- R3年度 新規開設 4箇所、サテライト型 1箇所
- R4年度 新規開設 3箇所（予定）

② 地域密着型介護基盤整備事業

地域医療介護総合確保基金により、市町村の介護保険事業支援計画に基づく地域密着型サービス等の施設整備に必要な経費や、開設準備等に必要な経費を支援。

■実績等

- R2年度 認知症高齢者グループホーム 5箇所
小規模多機能型居宅介護事業所 1箇所
看護小規模多機能型居宅介護事業所 1箇所
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 1箇所 等
- R3年度 認知症高齢者グループホーム 1箇所
小規模多機能型居宅介護事業所 1箇所
短期入所生活介護事業所 1箇所 等

(2) 入退院支援の推進

① 地域リハビリテーション支援体制整備事業（健康課）

厚生センター単位で医療機関及び介護支援専門員等が運用している「入退院支援の手引き（ルール）」等の活用による入院早期からの入退院支援の充実。

■実績等

〈調査実施機関〉

病院 - 在宅連携に関する実態調査の実施（富山県リハビリテーション支援センター及び地域リハビリテーション広域支援センター）

〈調査結果（抜粋）〉

項目	H28年度年 (医療計画策定時)	R元年度 (介護保険事業支援計画策定時)	R3年度
退院調整実施率	80.7%	85.7%	89.5%

(3) 日常の療養生活への支援

① 地域リハビリテーション支援体制整備事業（サポートセンター事業）（高齢福祉課）

全ての医療圏に地域包括ケアサポートセンターを指定・運営（10機関）することにより、地域ケア会議や、介護予防教室、通いの場等へのリハビリ専門職の派遣体制を強化し、市町村における介護予防事業等の取組を支援。

■市町村介護予防事業等へのリハビリ専門職派遣実績（件数）

区分	地域ケア会議	介護予防教室	通いの場	研修会講師	その他	計
令和元年度	58	52	42	3	20	175
令和2年度	75	76	26	3	22	202
令和3年度	110	51	62	19	22	264

※その他の内容：住宅改修の相談、同行訪問、フレイルサポーター養成講座等

② 医療系ショートステイ病床確保事業（高齢福祉課）

人工呼吸器や中心静脈栄養（I V H）等の医療的処置を必要とする在宅療養者に対し、介護者の緊急入院などにより、一時的に介護等が受けられない場合等に利用可能な専用病床を確保。

■利用率：R2年度 15.4% →R3年度 13.6%

③ 在宅人工呼吸器使用児者向け非常用電源整備事業（医務課）

災害発生時等に備え、人工呼吸器使用児者を診療する医療機関に対し、人工呼吸器用の非常用電源の購入・貸出しを支援。

■実績等：4医療機関から希望があり、計21台の発電機等の購入に対し補助

④ 認知症疾患医療センター運営事業（高齢福祉課）

認知症高齢者等の増加に対応するため、認知症疾患に関する専門相談や鑑別診断などの専門的な医療を行うとともに、地域の医療機関や介護関係機関等と連携した診断後支援を行うことにより、認知症疾患の保健医療水準の向上を図ることを目的とした認知症疾患医療センターを県内4医療圏ごとに1か所設置し、その運営を支援。

(4) 急変時の対応の推進

① 救急受診ハンドブックを活用した普及啓発（医務課）（再掲）

(5) 看取り支援の充実

① 在宅における看取り支援の推進（高齢福祉課）

郡市医師会が二次医療圏ごとに実施する「人生の最終段階における意思決定支援」に関する講演会や市民向け講座の開催や、患者本人の意思決定を支援する過程を共有する「人生会議の記録」の運用などの取組みを支援。

（富山県医師会委託）

(6) 在宅医療を支える基盤の充実

① 富山県在宅医療支援センター運営事業（高齢福祉課）

県内の在宅医療や在宅看取り等の体制を推進するとともに、在宅医療に取り組む医師の確保・育成、関係者からの相談対応や教育・研修、専用ホームページによる在宅医療の情報提供等、総合的な取組みを通して県内の在宅医療提供体制の充実を促進。

（富山県医師会委託）

■実績等

R2年度 研修会5回

R3年度 研修会5回

R4年度 研修会5回

② 富山県訪問看護総合支援センター運営事業（高齢福祉課）

県看護協会内に新たに「富山県訪問看護総合支援センター」を設置し、訪問看護師確保のための新卒看護師向けインターンシップ、医療的ケア児等への対応力向上研修や、災害時等における訪問看護ステーションの相互連携の調整を行うなど、訪問看護提供体制の安定化・機能強化を支援。

（富山県看護協会委託）

■実績等

R4年度 新卒看護師向けインターンシップ 14名参加
小児医療対応力向上技術研修会 1回

③ 訪問看護ステーションサポート事業 (高齢福祉課)

医療圏ごとに「訪問看護サポートステーション」を設置し、圏域内の訪問看護ステーションからの相談への対応や情報交換会等を開催し、事業所間の連携を促進。

(富山県看護協会委託)

■訪問看護サポートステーション

医療圏		指定機関
新川		朝日町在宅介護支援センター訪問看護ステーション
富山	I地区	富山赤十字訪問看護ステーション
	II地区	光風会訪問看護ステーション
高岡		もみじ訪問看護ステーション
砺波		南砺市訪問看護ステーション

■実績等

R2年度 研修9回(富山医療圏は合同)、情報交換会9回(富山医療圏は合同)
R3年度 研修6回(富山医療圏は合同)、情報交換会8回(富山医療圏は合同)

④ 訪問看護ステーション業務改善推進事業 (高齢福祉課)

訪問看護の日常業務の記録等の管理や個別サービス計画策定等の業務をICT化することにより、業務の効率化を促進する。

(富山県看護協会委託)

■訪問看護ステーション業務改善推進事業の実施状況

単位：箇所数

項目	R2年度	R3年度	R4年度
実施事業所数	3箇所	2箇所	3箇所(予定)

(7) 在宅医療を推進する専門職の確保・育成等

【訪問診療・往診:医師】

① 総合診療科医の確保 (医務課)

総合診療医を志望する医学生への修学資金の貸与など、総合診療医の確保に努める。

■実績等：富山県地域医療確保修学資金(特別枠)の貸与を受けた医師のうち、これまで9名の医師が総合診療医を志望

② 富山県在宅医療支援センター運営事業 (再掲)

【訪問看護:訪問看護師】

① 富山県訪問看護総合支援センター運営事業 (再掲)

② 訪問看護職員の確保・定着のための働き方改革推進事業 (高齢福祉課)

訪問看護トライアル雇用事業

県内の訪問看護ステーションにおいて、訪問看護の業務経験のない看護師を雇用し、訪問看護師との同行訪問や訪問看護師養成講習の受講機会を設け、訪問看護に必要な知識・技術を習得することにより、就業継続を支援。

(富山県看護協会委託)

■実施状況 単位：箇所数

項目	R2年度	R3年度	R4年度
利用事業所数	6箇所	6箇所	4箇所(予定)

③ 訪問看護・医療機関相互研修事業 (高齢福祉課)

医療機関の看護職員が、訪問看護ステーションへ出向し、訪問看護に同行し、在宅での看護技術を習得することにより医療機関と訪問看護の連携を促進。

また、訪問看護ステーション職員が医療機関へ出向いて、人工呼吸器等の最新の医療機器の情報を得ることにより訪問看護サービスの向上を図る。

(富山県看護協会委託)

■病院看護師出向研修事業

単位：箇所数

項目		R2年度	R3年度	R4年度
実施事業所数	医療機関(出向元)	1箇所	1箇所	1箇所(予定)
	訪問看護ステーション(出向先)	1箇所	1箇所	1箇所(予定)

■病院看護師の研修受入事業

単位：箇所数

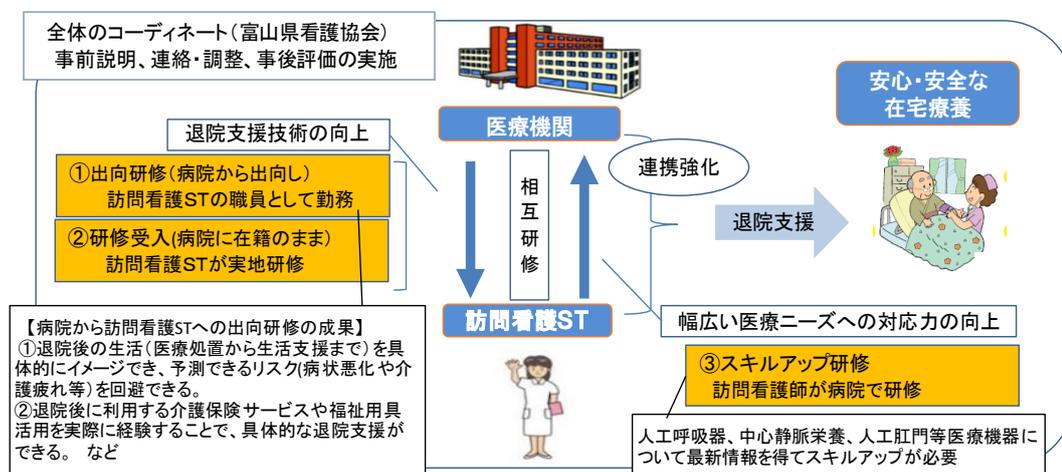
項目		R2年度	R3年度	R4年度
実施事業所数	医療機関(研修元)	2箇所	1箇所	1箇所(予定)
	訪問看護ステーション(研修先)	2箇所	1箇所	1箇所(予定)

■訪問看護スキルアップ研修事業

病院において、医療機器装着患者等への看護、人工呼吸器や中心静脈栄養等の医療機器にかかる最新情報や看護技術等を学ぶ研修会を医療圏ごとの病院で実施。

単位：箇所数

項目	R2年度	R3年度	R4年度
実施医療機関数	2箇所	5箇所	8箇所(予定)



【訪問歯科診療：歯科医師・歯科衛生士】

① 在宅歯科医療研修事業 (健康課)

在宅歯科医療の推進を図るため、要介護者等の口腔機能(摂食、咀嚼、嚥下等)の低下等に対応できる歯科専門職の育成研修や保健医療福祉関係者の歯科保健医療に関する理解を深めるための研修を実施。

(富山県歯科医師会・富山県歯科衛生士会委託)

■在宅歯科医療研修事業の実施状況(4回開催/年)

項目	R2年度	R3年度
参加人数	107	309

② 口腔ケア普及啓発事業 (健康課)

要介護状態の方への口腔ケア推進のため、ケアマネジャー等の支援者と歯科関係者の具体的な連携を促進するとともに、歯科疾患等を早期に発見するために、要介護状態になる以前からの取組みを促進し、歯と口腔の健康づくりに関する理解を深めるための研修を実施。

(富山県歯科医師会委託)

【訪問薬剤管理指導:薬剤師】

① 在宅医療推進訪問薬局支援事業 (くすり政策課)

地域包括ケアシステムが構築される中で、薬剤師・薬局が他職種や医療機関等の関係機関と連携しながら、その役割が発揮できるよう、かかりつけ薬剤師・薬局の推進及び地域において求められる認定薬局の整備を推進するため、薬局の機能強化や医療機関等との連携体制の構築等による認定薬局の普及に向けた事業を実施。

【訪問リハビリテーション:リハビリ専門職】

① 地域リハビリテーション支援体制整備事業 (サポートセンター事業) (再掲)

② リハビリ専門職従事者研修事業 (高齢福祉課)

地域ケア会議及び介護予防に関する知識・技術習得や多職種連携の必要性の理解等を目的とした研修を開催。

(富山県リハビリテーション専門職協議会委託)

■リハビリ専門職従事者研修の実施状況 (2回開催/年)

項目	R元年度	R2年度	R3年度
延参加人数	167人	309人 ※動画配信	139人

【訪問栄養食事指導:管理栄養士】

① 在宅医療・介護連携推進支援事業 (高齢福祉課)

市町村の特性に応じた在宅医療・介護連携を推進するため、厚生センター・支所において食支援推進研修会や、地域高齢者等食支援連絡会を開催。

② 高齢者の食支援を担う専門職の資質向上のための支援等 (健康課)

高齢者の特性に応じた専門的な栄養指導を実践できるよう、栄養士・管理栄養士の人材育成研修を実施。また、高齢者向けに食事を宅配している配食事業者の資質向上・支援を行うことで、在宅高齢者の健康支援を推進。

【訪問介護:介護福祉士等】

① 訪問介護と訪問看護の連携研修会事業 (高齢福祉課)

24時間365日対応の「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」サービスをはじめとした多職種との連携を推進するため、訪問介護と訪問看護との連携

に関する研修会を開催し、医療ニーズを併せ持った中重度の要介護者等への円滑なサービス提供を推進。

【介護支援:ケアマネジャー】

① ケアマネジャー医療介護連携研修事業 (高齢福祉課)

地域の多職種連携や他のケアマネジャーへの指導を担う主任ケアマネジャーを対象として、在宅医療・介護の連携研修を実施することで医療と介護の連携を促進。

(富山県介護支援専門員協会委託)

【認知症対応力向上:医療従事者及び介護従事者】

① 認知症対応力向上研修 (高齢福祉課)

通院中の高齢者等の認知症を早期に発見し、状況に応じた支援体制の構築を図るため、かかりつけ医を対象として適切な認知症診断の知識・技術等を習得する研修を開催するとともに、病院に勤務する医療従事者等を対象として認知症ケアの原則や医療と介護の連携の重要性等を理解する研修を開催。

また、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図るため、認知症介護実務者及び認知症介護を提供する事業所の管理者等に対して適切なサービスの提供に関する知識等を習得する研修を開催。

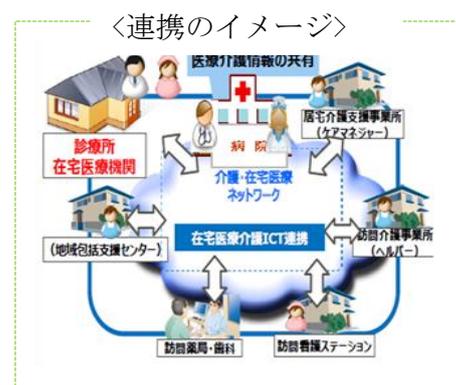
② 認知症初期集中支援チーム研修 (高齢福祉課)

認知症が疑われる人や初期の認知症者への支援を包括的・集中的に行い、自立した生活継続を支援するため、市町村が設置する「認知症初期集中支援チーム」を養成する研修受講に必要な経費を支援するとともに、支援チームの効果的な運営に資する技術を習得する研修等を開催。

3 在宅医療・介護連携の推進

(1) 医療・介護連携促進基盤整備事業 (高齢福祉課)

患者が安心して療養できるよう、病院と在宅医療、介護を支える機関が連携した切れ目のない支援を実施するため、多職種の医療・介護関係者が在宅療養者のバイタル情報や介護情報、診療画像などの情報をタブレット端末等でリアルタイムに活用できる医療・介護情報共有システムを整備する郡市医師会等へ必要な経費を支援。



■医療・介護連携促進基盤整備事業における医療・介護情報共有システム導入状況

項目	H30 年度	R 元年度	R 3 年度
導入団体数 (申込団体)	3 (新川地域在宅医療支援センター、上市町、南砺市医師会)	1 (射水市)	1 (高岡市医師会)

(2) **地域包括ケア推進支援事業:在宅医療・介護連携推進支援事業** (高齢福祉課)
 市町村が行う地域支援事業の「在宅医療・介護連携推進事業」を円滑に実施するため、厚生センター・支所において、市町村と郡市医師会の連携や、市町村区域を超えた連携・調整、医療と介護の連携に必要な以下の取組みを実施。

■ **取組み内容**

在宅医療実態状況調査、退院支援のためのルールづくり、急変時の受入れ体制の検討、在宅医療の普及啓発、医療関係者と介護関係者との協議・調整、多職種による事例検討会や研修の開催 等

(3) **地域リハビリテーション支援体制整備事業** (健康課・高齢福祉課) (再掲)

全ての医療圏に地域包括ケアサポートセンターを指定・運営 (10 機関) することにより、地域ケア会議や、介護予防教室、通いの場等へのリハビリ専門職の派遣体制を強化し、市町村における介護予防事業等の取組を支援。

また、二次医療圏に1~2か所、地域リハビリテーション広域支援センターを指定し、稀少疾患患者に対するリハビリ指導やリハビリ専門職への技術援助等を実施。

